秋の特別展
昭和女子大学附属
昭和高等学校スーパーグローバルハイスクールの取り組み

スーパーグローバルハイスクール（SGH）とは

文部科学省が、「高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、もって、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ること」を趣旨として、平成26年度から開始した事業です。この事業に応募し指定を受けた学校は、平成26年度に56校、平成27年度に56校、平成28年度に11校で、活動期間は5年間です。

昭和女子大学附属昭和高等学校は、初年度に指定校となりました。「大学や実社会と連動させたデュアルグローバルプログラム」を研究開発構想名に掲げ、この3年半、女性グローバル・リーダーの育成のために設定した課題研究に取り組んでまいりました。
本展覧会は、研究成果の普及活動のひとつとして開催するものです。生徒全員を対象に行っている「サービスラーニングの取り組み」と、45名の生徒で構成されるスーパーグローバル（SG）グループが4つの小グループ（LAB0）に分かれて取り組む「LABO活動」について展示発表いたします。
「サービスラーニング」は、本学の建学の精神である「世の光となろう」を体現する機会であり、本事業によってより一層本学ならではの特色を活かしたプログラムを展開しています。「LABO活動」は、女性のグローバルなキャリアデザインに対する課題解決プロジェクトですが、その一環として行われているSGH夏季海外研修の成果にご注目ください。

めざすグローバル・リーダーの資質

LAB0 活動　訪れた地域で触れた文化も紹介します

LABO 1　企業や個人で活躍する女性グローバル・リーダーの研究

グローバルに事業を展開している企業で働く女性社員や個人で活躍する女性をモデルに、仕事への取り組み、企業の取り組み、抱える課題を知り、どのようにすれば、よりグローバルにキャリアをデザインできるかについて研究し、提言することを目的に研究を進めている。
チャールストン市にある100年以上の歴史を持つ女子高のAshley　Hall校と連携し、アメリカ、中国の生徒たちと「女性のグローバルなキャリアデザインに対する課題解決プロジェクト」の共同研究を行い、企業訪問や女性起業家とのセッション等を通して国際的な視野の拡大を目指す。

アメリカ　チャールストン

スウィートグラスバスケット

LABO 2　日本人女性のジェンダーギャップの研究

日本でのジェンダー（社会的性差）の現状を調査し、問題点を探る。また、ジェンダー先進国のフィンランド研修を実施し、研修内容から日本での改善策を考え、発信していくことを目的に研究を進めている。
ヘルシンキの政府機関や企業を訪問すると共に、現地高校生とのジェンダーに関するディスカッションなどを通してお互いの歴史や文化について学んでいく。

フィンランド　ヘルシンキ

育児パッケージ

風俗人形　ラップランド人

LABO 3　海外で活躍する女性リーダーの研究

カンボジアでクッキーやハーブの生産・販売を行う会社や雑誌社を起業して、現地の人々に活躍・雇用の場を提供している日本人起業家を訪問。カンボジアの経済的自立を持続的に支えている女性グローバル・リーダーの仕事に密着することで、途上国支援の方法を体得しつつ、リーダーとしてのあり方について考え、提言することを目的に研究を進めている。
起業家の方々にお話を伺うことで、価値観の多様性や本当の豊かさについての学び、日本人としての自らの立場について考えを深めていく。

カンボジア　プノンペン、シェムリアップ

カンボジア伝統絹絵絣ピダン

影絵芝居人形

LABO 4　途上国女性の社会進出課題

途上国の女性や子どもたちがおかれている現状を学び、問題点は何か、私たちには何ができるのかを考え、途上国女性のキャリアデザインのために支援できることを提言することを目的に研究を進めている。
タイ、チェンライに生きる山岳少数民族や、彼らを支援するNGOの方との交流を通して、世界の問題へ目を向けるとともに、異なる文化や価値観への学びを深め、問題発見力や課題解決力等を養っていく。

タイ　チェンライ

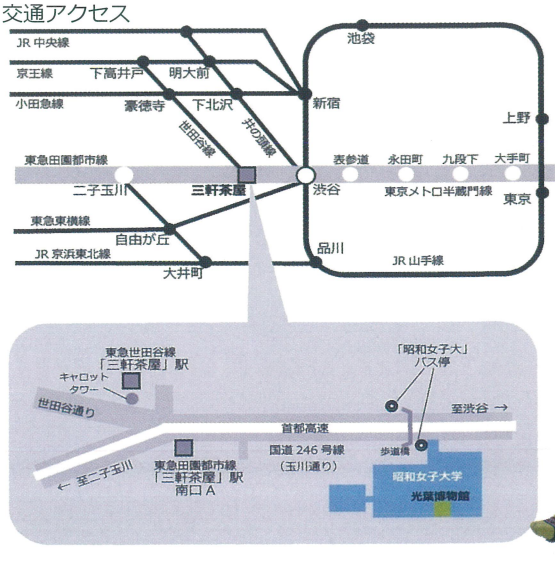
山岳民族アカ族　竹製テーブル・食器類

アカ族の村で竹カゴ作りを体験

関連イベント

生徒によるギャラリートーク（申込不要）

【開催日】2017年 11/11（土）11/12（日）昭和祭・秋桜祭
【時　間】10:30／12:00／13:30／15:00
【場　所】当館展示室内

プロジェクト研究を行う生徒たちが、活動の成果について展示解説します

交通アクセス